The Hidaka Sinkin Bank

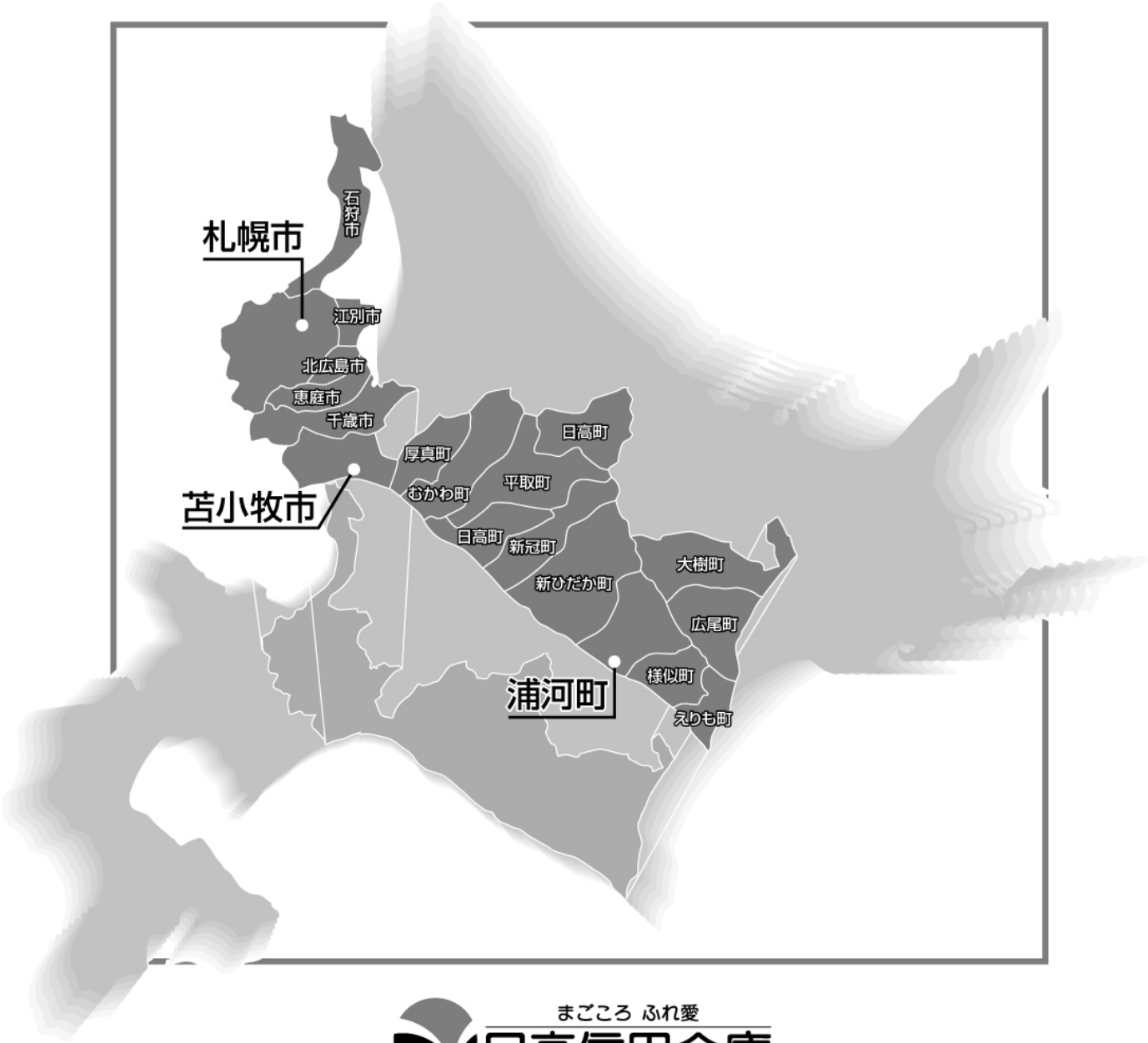
2019
1

Economic Situation

No. 381

(31. 1. 31 発行)

ひだかしんきん
地区内経済概況



まごころ ふれ愛
日高信用金庫
URL http://www.shinkin.co.jp/hidaka/

＊＊＊＊＊　目　　次　＊＊＊＊＊

業種別総括　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　30年12月

概　　況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

漁業・水産加工業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

農業・軽種馬生産業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

建　設　業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

木材・製材業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

卸・小売業･観光　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

倒産・雇用状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

そ　の　他　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

指　　標　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6～7

ト ピ ッ ク　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

インフォメーション　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

《業　種　別　総　括》

概　況

30 年 12 月

〔漁　業〕

・ 12月の総水揚げは、漁獲量・漁獲金額ともに前年を上回った。各地区スケソウ漁が主体。漁獲量では、スケソウ、カレイ、タコ漁が前年比減少、ツブ、毛ガニ漁が増加した。漁獲金額では、カレイ、タコ漁が、前年比減少、ウニ、スケソウ、毛ガニ漁が増加している。

〔農業・軽種馬生産業〕

・ 浦河町では15年ほど前から外国人騎乗員が働き始め、当初はフィリピンやマレーシアの出身者が多かったが、15年以降は急速にインド人の評判が広まった。今年10月末現在、町の外国人登録者198人のうちインド人は最多の114人を占める。町内で競走馬育成を手がける牧場約30カ所の9割で、20～40代のインド人が活躍している。

〔建設〕

・ 町発注工事（新ひだか～広尾地区）の月中発注額は3,000万円で、前年を800万円上回った。
・ 日高管内における国・道・町発注公共工事の月中請負金額（北海道建設業信用保証㈱の保証請負金額）は5億2,600万円で前年を4,400万円下回った。
・ 月中建築確認申請件数（新ひだか～広尾地区）は、3件で、前年を1件上回った。

〔卸・小売業・飲食業〕

・ 歳末恒例の大安売りが各町で開催され、地場産品に行列ができていた。
新ひだか町静内、「しずない海味（うみ）の市」。浦河町、「地場産品直売フェア」、「漁協歳末特産品フェア」。広尾町、「毛ガニの大釜ゆで実演販売」が各町特設会場で開催され、海産物や農畜産物が特価で販売された。特に、新巻きサケや茹でガニ、活毛ガニは大特価で飛ぶように売れていた。
・ 新ひだか町の農協や観光協会、商工会などでつくる地酒づくり協議会は、町内で今年初めて作られた酒造好適米（酒米）を使った酒の名称を募っている。酒米は、農業生産法人に依頼し、約12㌧を収穫、醸造は新十津川町の金適酒造に委託。1本720㍉㍑換算で約2千本を製造する計画。
・ 新ひだか町静内地区の商店主らが、自ら講師となり専門知識や技術を町民に伝える「まちゼミ」の開催準備を進めている。生活に役立つ情報を薦め、商店街に人を呼び戻す狙い。関係者は来年の実現に向けて参加店を募っている。商店街連合会は来春をめどに実行委員会を立ち上げる。

〔観光・その他〕

・ 日高振興局がまとめた日高管内の2018年度上半期（4～9月）の観光客数は、7町合わせて前年同期比2.2%増の120万8,200人だった。胆振東部地震で宿泊客数の落ち込みはあったが、日勝峠の再開通、各町や施設のＰＲが奏功した。

〔雇　用〕

・ 浦河地区と全道の月間有効求人倍率は、浦河地区、全道ともに前年を上回った。

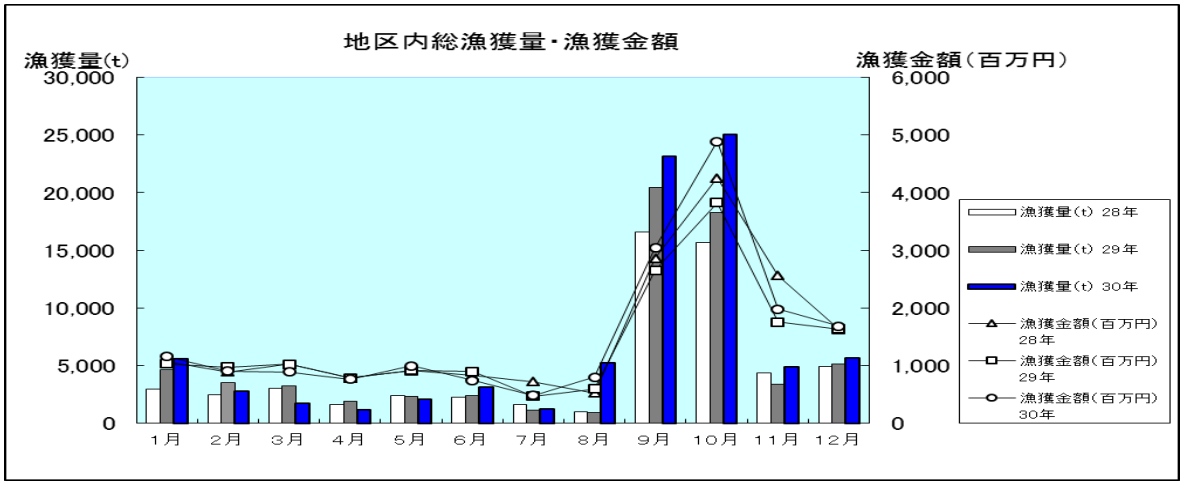
〔総　括〕

・ 建設業の月中請負金額（北海道建設業信用保証㈱の保証金額）、は前年を下回り、町発注工事も前年を上回っている。一部大手企業は来春までの工事を確保しているが、建設業は低迷している。漁業の漁獲量は、ツブ、毛ガニ漁が前年比増加、タラ・スケソウ、カレイ、タコ、底曳き網漁が前年比減少している。漁獲金額は、スケソウ、毛ガニが高値となっており前年比増加しており、漁獲量・漁獲金額ともに前年を上回った。小売業、飲食業は、年末商戦、忘年会等で忙しさが増した。個人消費は、年末・年始の準備等でやや上向いた。地区内景況は上向きながらも、燃料価格高騰の影響もみられ、引き続き横這の状況が続いている。

漁業・水産加工業

〔沿岸漁業〕カレイ、タコ、ツブ、毛ガニ漁等。**〔沖合い漁業〕**タラ・スケソウ、底曳き網漁等。

総漁獲量 5,659ﾄﾝ・金額 16億8,700万円(前年同月比511ﾄﾝ増・5,000万円増)



タコ漁……	105ｔ	・	65百万円	(前年同月比	78ｔ減	・	46百万円減)
カレイ漁……	304ｔ	・	238百万円	(前年同月比	52ｔ減	・	21百万円減)
ツブ漁……	164ｔ	・	107百万円	(前年同月比	31ｔ増	・	7百万円増)
底曳き網漁……	1,070ｔ	・	140百万円	(前年同月比	153ｔ減	・	36百万円減)
ホッキ漁……	65ｔ	・	19百万円	(前年同月比	9ｔ減	・	6百万円減)
昆　布……	151ｔ	・	235百万円	(前年同月比	6ｔ増	・	20百万円増)
タラ・スケソウ漁…	1,856ｔ	・	474百万円	(前年同月比	536ｔ減	・	63百万円増)
ナマコ漁……	2ｔ	・	9百万円	(前年同月比	1ｔ増	・	4百万円増)
ウニ漁……	12ｔ	・	40百万円	(前年同月比	8ｔ増	・	32百万円増)
毛ガニ漁……	67ｔ	・	319百万円	(前年同月比	31ｔ増	・	131百万円増)
ハタハタ漁……	17ｔ	・	14百万円	(前年同月比	11ｔ増	・	11百万円増)
その他……	1,846ｔ	・	27百万円	(前年同月比	1,251ｔ増	・	109百万円減)

・ 12月の総水揚は、漁獲量で前年を511ﾄﾝ上回り、漁獲金額は5,000万円上回った。漁獲量では、毛ガニ、ハタハタ漁が増加し、タラ・スケソウ、底曳き網、タコ、カレイ漁が減少した。漁獲金額は、タラ・スケソウ、毛ガニ、ウニ漁が増加し、底曳き網、タコ、カレイ漁が減少している。

・ 日高振興局は、今年1～12月の管内主要魚種の年間生産高(見込み)をまとめた。昨年まで2年連続不振を極めた秋サケ漁が回復し、総漁獲量は前年比8.2%増の約3万5,650ﾄﾝ、金額は同9%増の約157億5,000万円ほどになる見通し。生産高概況は各漁協からの今年1～11月の漁獲報告に過去5カ年の12月の漁獲平均値を加え年間生産高を推計した。過去5カ年平均の漁獲実績と比べると今年は漁獲量の多いスケトウダラが平均の8割程度と少なく数量は93%。サケ、イカ、タコ、ツブ、ナマコなどが高値で推移し、金額は102.1%と金額全体では平均を上回った。サケ漁は数量が7,230ﾄﾝ(前年比213.2%)、金額は約50億8,800万円(同140.5%)。コンブは出荷量で約2,190ﾄﾝ(前年比88.5%)と減少したものの、金額は33億2,600万円(同100.8%)と前年並みだった。
管内主要魚種生産高(概算見込みを含む)は5ページに掲載。

(対象は新ひだか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区)　(「ｔ」はトンを表しています)

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

・ ＪＲＡ日本中央競馬会の平成31年度事業計画及び収支予算(案)がまとまった。2019年は1月5日からの東西金杯でスタートし、12月28日のホープフルステークスまで全国10競馬場で合計288日間の開催を予定。競争事業費は約20億円増の1,382億円が予算案として計上された。生産者賞は18年の45億7,600万円から総額46億5,400万円に7,800万円の増額。内国産馬所有奨励賞も55億1,700万円から総額61億700万円と5億9,000万円の増額となる。こうした決定に日高軽種馬農協では「生産牧場賞の増額は生産者にとっての励みになるし、種付料や繁殖牝馬の更新などの再投資にも有効。また、内国産馬所有奨励賞の大幅増額は、馬主の購買意欲を高めてくれるもの。全体予算の中で、競争事業費に多くの予算を割り振っていただいたことに感謝したい」と話している。

〔農　業〕

・ ひだか東農協(本所・浦河)の見通しによると、平成30年度(30年2～31年1月)の浦河、様似両町のイチゴ生産額は、前年度実績の4億1,700万円を2,800万円ほど上回る過去最高の約4億4,500万円を見込んでいる。

・ 新冠町の基幹作物ピーマンの2018年の販売金額(5～11月)が、前年比17.6%増の8億6,854万円と、6年連続で過去最高を更新した。2月の大雪による農業用ビニールハウスの倒壊の影響で、販売数量は同14.2%減だったが、全国的な不作から単価が高く、金額を伸ばした。

・ しずない農協が販売する静内産ミニトマト「太陽の瞳」の平成30年販売金額は、前年比約7,100万円減の9億1,412万円となった。2月の大雪でハウスが倒壊するなど大きな被害を受けたが、農家の努力で出荷量が計画よりも多く、販売単価も高かったことから9億円台を維持した。

〔花き栽培〕

・ 12月の花き出荷実績は、26万2千本、金額2,436万円(前年22万2千本、2,895万円)。

建設業

〔公共工事〕

・ 日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証㈱の保証請負金額)は、5億2,600万円で、前年同月比4,400万円減少した。

〔町発注工事・建築確認申請〕

	工事件数				金額（百万円）				確認申請件数
	土木	建築	その他	計	土木	建築	その他	計	
新ひだか町	2	0	0	2	13	0	0	13	2
浦河町	5	0	0	5	17	0	0	17	0
様似町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
えりも町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広尾町	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	7	0	0	7	30	0	0	30	3

・ 町発注工事(新ひだか～広尾地区)は7件、3,000万円となった(前年同月6件、2,200万円)。工事発注状況をみると、前年同月比では、件数は1件上回り、金額は800万円上回った。

・ 月中受付の建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は3件で、前年を1件上回った。

木材・製材業

〔木　材〕

・チップ材の出荷状況（広尾地区）は、数量が 1,094 ㌧（前年 880 ㌧）で前年比 24.3％の増加。出荷金額は 1,635 万円（同 1,419 万円）で前年比 15.2％増加。

〔製　材〕

・建材、プレカット材等は建築業者からの注文で前年並みで推移している。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

・本州産の野菜、果物が主となっている。ハクサイやダイコンなど冬野菜が安値となっている。道外の産地が好天に恵まれ、生育・出荷が進み、平年の 2、3 割安となっている。

〔小売業・飲食業〕

・浦河商工会議所青年部主催の「第5回浦河町レシート祭り」が開かれ、多彩なイベントと242本の豪華賞品が当たる抽選会でにぎわった。町内137店の祭り参加加盟店のうち3店舗で買い物をし、店舗の重複をしない500円以上のレシート3枚で1回の抽選が出来る。食事券や商品券、宿泊施設のペア宿泊券などが当たるWチャンス抽選会で会場は熱気に包まれた。

・ＡＩＲＤＯ（エアドゥ）は、道内高校生が育てた「雪化粧かぼちゃ」をあんに使用した「どら焼き」を13日から来年1月にかけ機内で限定無料提供することにし、静内農業高校も生産科学化1年生16人が生産した100㌔（約50個）のかぼちゃを同社に提供した。ＡＩＲＤＯは今年、道内の農業高校14校に「空飛ぶパンプキンプロジェクト」として「雪化粧かぼちゃ」の生産を提案していた。

〔観光・その他〕

・日高振興局がまとめた日高管内の2018年度上半期（4～9月）の観光客数は、7町合わせて前年同期比2.2％増の120万8,200人だった。胆振東部地震で宿泊客数の落ち込みはあったが、台風の影響で通行止めになっていた国道274号の日勝峠の再開通、各町や施設のＰＲが奏功した。

・えりも町のえりも観光協会は、地元漁業者らと協力して襟裳岬周辺の海をコンブ漁船で周遊する「コンブボート・クルーズ」を始めた。「観光客を陸から見える景色の裏側へ誘い、漁業者と一緒に地域を盛り上げたい」と力を込めている。漁船はいずれも長さ6.77㍍で旅客定員は6人。8千円（15㌔、所要時間50分）と5千円（6.2㌔、同30分）の2コースがあり、岬の先の岩礁近くを回り、日高山脈やゼニガタアザラシ、季節によってオオワシを見ることができる。

・「第49回広尾毛がにまつり」が9日、シーサイドパーク広尾で開かれた。旬の毛ガニや海産物を求める約15,000人の来場者でにぎわった。町商工会青年部が直径2㍍の大釜で毛ガニ約4,000杯を茹で上げ、早朝から長い行列をつくった人たちが真っ赤なカニを次々と購入した。

・国内風力発電大手の日本風力開発（東京）が、えりも町で出力20万～30万ｋｗの大規模風力発電所の建設を計画していることが分かった。来春にも建設に必要な環境影響評価の手続きを始め、2020年代前半の運転開始を目指す。同地域では発電事業者のアールイー・パートナーズ（大阪）も大型風力発電所の建設を計画。政府が再生可能エネルギーを主力電源化する方針を示す中、資源が豊富な道内で事業者間の適地争奪が本格化している。日本風力開発はえりも町の国道336号の北側から襟裳岬の周辺を調査し、事業性が見込めると判断。出力4千ｋｗの風力発電機を50基以上建設する。総事業費は700億円規模になる見通し。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

・ 当金庫管内(新冠町～えりも町)の倒産は、0件(前年同月0件)。
当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、1件(前年同月0件)、負債総額は8千万円(同ゼロ)。

〔道内の倒産〕

・ 北海道の倒産件数は18件(前年同月18件)、負債総額は15億円(同301億4千万円)、倒産件数は前月、前年と同数となった。 (東京商工リサーチ)

〔全国の倒産〕

・ 全国の倒産件数は622件(前年同月696件)、負債総額は817億9千万円(同3,975億9千万円)。
倒産件数は前月比96件減少、前年比で74件減少した。

〔雇　　用〕

・ 12月の浦河地区の月間有効求人倍率は2.00倍で前年比0.41ポイント上昇、前月比で0.21ポイント上昇した。有効求人数は1,215人で前年比165人増加、前月比で47人の増加となった。有効求職者数は606人で前年比54人減少、前月比で48人減少した。全道の月間有効求人倍率は1.22倍で前年比0.04ポイント上昇した。浦河地区の求人倍率は、統計史上初、過去最高となった。

その他

管内生産馬、中央競馬重賞レース勝馬

12／ 1　第52回　ステイヤーズステークス　(GⅡ)
　　リッジマン　号　(浦河町　辻牧場　殿生産)

12／15　第4回　ターコイズステークス　(GⅢ)
　　ミスパンテール　号　(日高町　三城牧場　殿生産)

12／22　第141回　中山大障害　(J・GⅠ)
　　ニホンピロバロン　号　(新ひだか町　福岡　清　殿生産)

12／22　第13回　阪神カップ　(GⅡ)
　　ダイアナヘイロー　号　(浦河町　大西ファーム　殿生産)

日高管内主要魚種　今年の概算水揚げ　3万5,000トン、157億5,000万円

日高振興局は、今年1～12月の管内主要魚種の年間生産高(見込み)をまとめた。
生産高概況は各漁協からの今年1～11月の漁獲報告に過去5カ年の12月の漁獲平均値を加え年間生産高を推計した。

魚　種	数　量 (ﾄﾝ)	前年対比 (%)	金　額 (万円)	前年対比 (%)
サ　ケ	7,230	213.2	50億8,850	140.5
カレイ類	2,161	66.6	7億　135	70.5
タ　ラ	1,611	105.8	4億3,856	66.4
スケトウダラ	11,117	88.9	10億7,155	100.6
シシャモ	86	122.5	1億1,508	84.3
ハタハタ	9	58.2	518	55.1
イカ類	722	208.5	4億1,311	231.5
タコ類	2,256	84.4	16億3,282	101.9
ナマコ	86	97.8	3億9,378	127.5
毛ガニ	85	103.7	3億5,814	97.9
ツブ類	1,752	69.9	11億　875	82.3
コンブ	2,190	88.5	33億2,661	100.8

(注) 調査区域：浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

≪指　　標≫

1　営業区域の人口・世帯数動向　(平成30年12月現在)　　(単位：人)

町　村　別	人口			世帯		
	人　数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
平　取　町	5,035	−103	−29	2,517	−30	−32
日　高　町	11,914	−291	−17	6,199	−61	−7
新　冠　町	5,551	−19	−20	2,761	35	−1
新ひだか町	22,672	−333	−23	11,762	21	−6
浦　河　町	12,445	−172	−22	6,755	−11	−12
様　似　町	4,320	−100	−8	2,198	−26	−8
えりも町	4,727	−126	0	2,136	−17	3
日高地区合計	66,664	−1,144	−119	34,328	−89	−63
広　尾　町	6,888	−142	−4	3,377	−40	3
大　樹　町	5,626	−24	−2	2,726	30	−2
日高･十勝地区合計	79,178	−1,310	−125	40,431	−99	−62
札　幌　市	1,966,735	3,109	18	954,146	9,962	−65
江　別　市	118,985	−14	16	57,219	655	1
石　狩　市	58,345	−157	−11	27,580	175	−7
北広島市	58,630	−198	−14	27,537	239	5
恵　庭　市	69,850	329	−16	33,317	499	−6
千　歳　市	97,021	214	−61	49,179	577	−61
石狩地区合計	2,369,566	3,283	−68	1,148,978	12,107	−133
苫小牧市	171,811	−562	19	88,545	829	57
厚　真　町	4,596	−65	−3	2,149	−8	−2
むかわ町	8,126	−252	−37	4,183	−104	−41
胆振地区合計	184,533	−879	−21	94,877	717	14
営業区域合計	2,633,277	1,094	−214	1,284,286	12,725	−181

注: 日高町の人口数に外国人登録者数は含まれていません。　　(資料出所:各市町村)

2　労働需給状況(平成30年12月)

(単位：人、%)

	浦河職安	全　道	前年同月比		前月比	
月間有効求人数	1,215	87,875	165	1,847	47	−4,698
月間有効求職者数	606	71,913	−54	−699	−48	−3,637
月間有効求人倍率	2.00	1.22	0.41	0.04	0.21	−0.01

(資料出所:浦河公共職業安定所)

3　建築確認申請(平成30年12月)

(単位：件)

		件　数	前年同月比	前　月　比
当金庫管内	当月の申請	3	1	−5
(新ひだか町～広尾町)	30/4～30/12　累計	89	−5	

(資料出所:各市町村)

4　企業倒産状況（平成30年12月）

（単位：件、千万円）

	件数	金額	前年同比(件数)	前年同比(金額)	業種	地区
苫小牧管内	1	8	1	8		
うち新冠町～えりも町	0	0	0	0		
北海道	18	150	0	−2,864		
全国	622	8,179	−74	−31,580		

（資料出所：東京商工リサーチ）

5　浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高（平成30年12月）

（単位：百万円、％）

預金			貸出金		
残高	前年同月比	前月比	残高	前年同月比	前月比
140,823	3.35	1.16	54,220	4.47	2.95

（資料出所：浦河・静内金融協会）

6　浦河町・新ひだか町 手形交換高

（単位：枚、百万円、％）

	30年12月	前年同月比	前月比
交換枚数	175	−20.81	−25.53
交換金額	388	34.26	−5.37
不渡り手形枚数	0	―	―
不渡り手形金額	0	―	―

（資料出所：浦河・静内金融協会）

7　気象情報（札幌管区気象台発表）

12月中の気象状況

（単位：℃、mm、h）

	本年			平年偏差・平年比		
	気温	降水量	日照時間	気温	降水量	日照時間
浦河	−0.3	79.0	122.5	−0.5	156.4	107.4
広尾	−1.1	41.5	161.2	0.2	49.2	109.8

平年偏差、平年比は、1981～2010年の資料から算出された平年値を使用。気温は当月の平均気温から平年値を差し引いたもの（平年比）。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を平年値で割り返したもの（平年偏差）。

（資料出所：国土交通省・気象庁）

8　各町の水道使用量（平成30年12月）

（単位：ｔ、％）

	一般家庭用	前年比	事業用	前年比	合計	前年比
新ひだか町静内	92,786	−1.3	45,072	0.9	137,858	−0.6
新ひだか町三石	16,267	−0.3	10,627	11.2	26,894	3.9
浦河町	56,907	−1.9	25,740	−1.7	82,647	−1.8
様似町	23,403	1.2	12,445	2.0	35,848	1.5
えりも町	24,391	1.4	10,542	−3.1	34,933	0.0
広尾町	33,882	−2.4	15,280	−1.4	49,162	−2.1

＊ 広尾町は30年11月分

（資料出所：各町）

トピック

日高振興局からのお知らせ

日高振興局では、地域の特色や優位性を皆様に広くアピールさせていただくため、農業、林業、水産業、商工業など幅広い分野で、日高のすばらしさを紹介しています。
今回は、水産関係者による代表的な取り組みについて紹介します。

～日高管内の新規漁業就業者対策を考える～

日高管内の新規漁業就業者対策を考えるシンポジウムが、昨年１０月、日高振興局において開催され、管内の沿海６町、３漁協、振興局、普及指導所、系統・水産団体の関係者ら約４０人が出席し、活発な意見交換などが行われた。

このシンポジウムでは、はじめに日高振興局より「北海道における新規漁業就業者対策」と題して、管内の漁協組合員は平成５年の２，４９５名から平成２９年には１，５８０名に減少していることや、道内では町村、漁協、道などで構成する担い手対策の地域協議会が１５の地域で組織されていることを示し、管内での設立を呼びかけた。

次に新規漁業就業者対策の先進地である宗谷管内礼文町より「礼文町の漁業担い手支援事業」、香深漁協より「受入体制」について講演があった。
礼文町では平成２０年以来、毎年、漁業就業支援フェアに参加し漁業就業者は１０名を数え、漁業者支援住宅を平成２６年以来１０戸整備するほか、新規漁業就業者への定着補助金などの支援を行っている。
また、香深漁協では昭和５４年の４９６名から平成２９年には１３３名に組合員が減少し、これまでの間、漁協運営にも苦慮しており、新規組合員の加入を促進するため、新規就業の資格のハードルを下げ、Ｉ・Ｕターンの促進を図ってきたことなど取組みの説明があった。

意見交換では、３漁協から香深漁協での取り組みに熱心な質問が行われるとともに、各町の取組みなど意見交換が行われ、最後に、北海道漁業就業支援協議会より「新規漁業就業者対策には地域ぐるみの支援が決め手になる」と話があり、今後、当管内でも地域協議会の設置を検討することとなった。

～問い合わせ先～
日高振興局産業振興部水産課　(TEL:0146-22-9321 / FAX:0146-22-7563)

インフォメーション

※ 浦河町内で住宅新築・リフォームをお考えの方へお知らせ。

住宅ローン『特別優遇金利』取扱開始！！

●子育て世帯の「住宅新築・リフォーム」を特別優遇金利で応援します！

●通常の優遇金利とは別に0．10％の特別優遇

●特別優遇金利適用対象者

「浦河町住宅新築リフォーム等支援補助金」の交付対象者の方に、特別優遇金利で支援します。

※ただし、子育て世帯に該当する場合の補助金交付対象世帯とします。

●特別優遇金利の適用期間

《住宅ローン》

固定金利特約型を選択の場合、選択した固定金利特約期間（3年・5年・10年のいずれか）の間とします。

《リフォーム・無担保住宅ローン・フリーローン》

選択した返済期間の間とします。

※ 別途、保証会社（一般社団法人しんきん保証基金）へお支払する保証料が必要となります。

※ 優遇金利の適用条件や商品内容については、お近くの当金庫窓口へお気軽にご相談ください。

※ ひだかしんきん健康サポート預金

お取扱期間：平成30年8月1日(水)～平成31年7月31日(水)

健康サポート定期預金		健康サポート定期積金	
お預入金額	1口10万円以上 100万円以内	お預入金額	毎月5,000円以上30,000円以内
お預入期間	1年（自動継続扱い）	ご契約金額	60,000円以上1,800,000円以内
お預入利率	スーパー定期預金300万円以下1年ものの店頭表示利率に0.10%上乗せ	ご契約期間	1年以上　5年以内
お預入条件	新規お預入れのほか、要求性預金（普通預金等）、既存定期預金からのお預入れも可能です	お預入利率	店頭表示利率に0.10%上乗せ
年1回、「健康診断」を受けましょう！		お預入条件	新規お預入れのほか、既存定期積金満期金のご継続商品としてもご利用いただけます。

健康で豊かな人生をお送りいただくため、特定健診・健康診断等を受診する方を当金庫がしっかりサポート！

※ 詳しくは、当金庫窓口にお尋ねください。

Face to Face

ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本　　店	〒057-0013	浦河郡浦河町大通２丁目31の２	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺町支店	〒057-0034	浦河郡浦河町堺町西１丁目83の59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静内支店	〒056-0016	日高郡新ひだか町静内本町１丁目１の15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三石支店	〒059-3108	日高郡新ひだか町三石本町197の23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様似支店	〒058-0014	様似郡様似町大通２丁目35の２	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204	幌泉郡えりも町字本町170の１	☎ (01466) 2-2311
ATM	広尾支店	〒089-2615	広尾郡広尾町本通８丁目７の１	☎ (01558) 2-3161
	札幌支店	〒060-0004	札幌市中央区北４条西５丁目1―4 三井生命札幌共同ビル４階	☎ (011) 200-7070

ATM営業時間　平日８：45～18：00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」のATMが設置されております。

土曜日ATM稼動店：本店･堺町支店・静内支店・三石支店･様似支店･えりも支店･広尾支店

土曜日ATM営業時間　９：00～17：00

日曜･祝日ATM稼動店：本店･静内支店

日曜･祝日ATM営業時間　９：00～17：00

店外ATM

浦河町役場内ATM　浦河郡浦河町築地　浦河役場内１階ロビー

店外ATM営業時間　平日９：00～16：00

浦河赤十字病院内ATM　浦河郡浦河町東町　浦河赤十字病院内１階ロビー

店外ATM営業時間　平日９：00～18：00

パセオ堺町店内ATM　浦河郡浦河町堺町　店内フロア

店外ATM営業時間　平日･土曜･日曜・祝日９：00～19：00

マックスバリュ静内店内ATM　日高郡新ひだか町静内木場町　店内フロア

店外ATM営業時間　平日・土曜･日曜・祝日９：00～19：00

※店外ATMは、全て「ハンドセット搭載機」です。

まごころ ふれ愛
日高信用金庫

業務部地域貢献課

〒057-0013　浦河郡浦河町大通２丁目31の２

電話 (0146)22-4100　FAX (0146)22-6106

URL　http://www.shinkin.co.jp/hidaka/